

第四次国有林野施業実施計画 第三次変更計画書

(渡島檜山森林計画区)

計画期間 $\left(\begin{array}{l} \text{自 平成22年4月 1日} \\ \text{至 平成27年3月31日} \end{array} \right)$

策 定 年 月 日 : 平成22年3月30日
第一次変更年月日 : 平成23年3月30日
第二次変更年月日 : 平成24年3月30日
第三次変更年月日 : 平成25年3月28日

北海道森林管理局

渡島檜山森林計画区の第四次国有林野施業実施計画の変更について

【変更理由】

次の理由から国有林野管理経営規程（平成 11 年農林水産省訓令第 2 号）第 14 条第 2 項に基づき変更するものである。

- 1 国有林野管理経営規程の一部を改正する訓令について（平成 24 年 12 月 19 日付け 24 林国経第 41 号）に基づき、機能類型の名称及び区域を変更する。
- 2 「国有林野管理経営規程の運用について」等の一部改正について（平成 24 年 12 月 19 日付け 24 林国経第 42 号）に基づき、記載事項を変更する。
- 3 森林・林業基本計画を踏まえ、効率的な路網整備や間伐等の森林施業を推進するため、林道にかかる計画を変更する。
- 4 森林整備の必要箇所の精査により伐採箇所を追加したため伐採総量及び更新総量、保育総量を変更する。

なお、本変更計画は、平成 25 年 4 月 1 日から適用する。

【変更項目及び頁】

1	国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域	（1）	1
2	施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量		
	（1）伐採造林計画簿	（1）	1
	（2）水源涵養タイプにおける施業群別面積等	（1）	1
	（3）水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積	（2）	3
	（4）伐採総量	（3）	4
	（再掲）市町村別内訳	《1》	6
	（5）更新総量	（4）	8
	（6）保育総量	（4）	8
3	林道の整備に関する事項	《4》	10
6	レクリエーションの森の名称及び区域	《15》	14
7	公益的機能維持増進協定の名称及び区域等	（一）	21
8	その他必要な事項		
	（3）森林施業団地	（一）	21

注：1 （ ）書は、変更前の国有林野施業実施計画書の頁であり、〈 〉書は、第一次変更計画書の頁である。《 》書は、第二次変更計画書の頁である。

2 本文については、変更等を行う項目に係る部分を掲載しており、下線部等が変更・追加等の箇所である。

【現行計画】

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに3機能類型及びタイプ別区域

3機能類型の配置については、国有林野施業実施計画図(別添1)による。

2 施業群及び生産群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積又は標準伐採量、伐採箇所ごとの伐採方法及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

(1) 伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿(別添2)による。

(2) 水源かん養タイプにおける施業群別の面積等

区 分	面 積 (ha)	取 扱 い の 内 容	伐 期 齢 又 は 回 帰 年	
			樹 種	
単 層 林 施 業 群	16,029	人為を積極的に加えることにより、 単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法:育成単層林施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	80年
			カラマツ ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林 施 業 群	7,256	人為を積極的に加えることにより、 伐期の長期化を図り、単層状態の 森林を造成・維持する。 【施業方法:育成単層林施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	120年
			カラマツ ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複 層 林 施 業 群	11,094	人為を積極的に加えることにより、 複数の樹冠層を有する森林を造成し、 将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法:育成複層林施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混 交 林 施 業 群	6,521	必要により人為を加えることにより、 広葉樹等の導入・育成を図り、 針広混交林を造成・維持する。 【施業方法:育成複層林施業】	針葉樹林 30年 針広混交林 30年 広葉樹林 35年以下	
育成天然林 施 業 群	44,005	必要により人為を加えることにより、 多様な樹種による複数の樹冠層を 有する森林を造成・維持する。 【施業方法:育成複層林施業】		
天然生林 施 業 群	26,275	天然力を活用することにより、 森林を造成・維持する。 【施業方法:天然生林施業】		
計	111,181			

注) 林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。(以下の表についても同じ)

【変更計画】

1 国有林野の区画の名称及び区域並びに機能類型及びエリア別の区域
国有林野施業実施計画図（別添1）による。

2 施業群の名称並びに区域、伐期齢又は回帰年、上限伐採面積、伐採箇所ごとの伐採方法
及び伐採量並びに更新箇所ごとの更新方法及び更新量

（1）伐採造林計画簿

伐採・更新箇所ごとの伐採・更新面積及び方法等については、伐採造林計画簿（別添2）による。

（2）水源涵養タイプにおける施業群別面積等

（単位：h a）

区 分	面 積	取 扱 い の 内 容	伐期齢又は回帰年	
			樹 種	
単 層 林 施 業 群	16,576	人為を積極的に加えることにより、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	65年
			アカエゾマツ・エゾマツ	80年
			カラマツ・グイマツ	50年
			スギ	65年
			その他針葉樹	60年
長期単層林 施 業 群	7,243	人為を積極的に加えることにより、伐期の長期化を図り、単層状態の森林を造成・維持する。 【施業方法：育成単層林へ導くための施業】	トドマツ	100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	120年
			カラマツ・グイマツ	80年
			スギ	100年
			その他針葉樹	90年
複 層 林 施 業 群	11,122	人為を積極的に加えることにより、複数の樹冠層を有する森林を造成し、将来にわたり非皆伐状態を維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	トドマツ	伐採始期 60年 伐採終期 100年
			アカエゾマツ・エゾマツ	伐採始期 70年 伐採終期 120年
			カラマツ・グイマツ	伐採始期 40年 伐採終期 80年
			スギ	伐採始期 50年 伐採終期 80年
			その他針葉樹	伐採始期 50年 伐採終期 90年
混 交 林 施 業 群	6,556	必要により人為を加えることにより、広葉樹等の導入・育成を図り、針広混交林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】	針葉樹林 30年 針広混交林 30年 広葉樹林35年以下	
育成天然林 施 業 群	44,054	必要により人為を加えることにより、多様な樹種による複数の樹冠層を有する森林を造成・維持する。 【施業方法：育成複層林へ導くための施業】		
天然生林 施 業 群	26,404	天然力を活用することにより、森林を造成・維持する。 【施業方法：天然生林へ導くための施業】		
合 計	111,954			

注）林地面積の集計である。

計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。（以下の表についても同じ）

(3) 水土保持林の水源かん養タイプにおける施業群別の上限伐採面積

(単位:ha)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	1,287	382	1,199	1,080	6,479	3,761

(4) 資源の循環利用林の生産群別の面積

区 分	面 積 (ha)	生 産 目 標 等			伐期齢 又は 回帰年	
		利用形態	樹 種	目標径級 (cm)		
単 層 林 生 産 群	547	一般材	トドマツ	22～38	65年	
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	80年	
			カラマツ・グイマツ	22～38	50年	
			スギ	22～38	55年	
			その他針葉樹	22～38	60年	
			広葉樹(エンジュ・アオダモ除く)	24～		
			エンジュ・アオダモ	16～		
長期単層林 生 産 群	-	一般材	トドマツ	40～	90年	
			アカエゾマツ・エゾマツ	40～	110年	
			カラマツ・グイマツ	40～	80年	
			スギ	40～	90年	
			その他針葉樹	40～	90年	
複 層 林 生 産 群	28	一般材	トドマツ	22～38	※100年	
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	※120年	
			カラマツ・グイマツ	22～38	※80年	
			スギ	22～38	※80年	
			その他針葉樹	22～38	※90年	
混 交 林 生 産 群	35	一般材	トドマツ	22～38	※※65年	
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38	※※80年	
			カラマツ・グイマツ	22～38	※※50年	
			スギ	22～38	※※55年	
			その他針葉樹	22～38	※※60年	
			広葉樹(エンジュ・アオダモ除く)	24～		
			エンジュ・アオダモ	16～		
育成天然林 生 産 群	97	一般材	トドマツ	22～38	針葉樹林 30年 針広混交林 30年 広葉樹林 35年以下	
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38		
			カラマツ・グイマツ	22～38		
			スギ	22～38		
			その他針葉樹	22～38		
			ナラ・ウダイカバ・ダケカンバ・ニレ カツラ・シナ・セン・ヤチダモ	46～		
			クルミ・アサダ・ホオ・キハダ・イタヤ	36～		
			サクラ類・シラカンバ・ハン・ドロ	24～		
			エンジュ・アオダモ	16～		
天然生林 生 産 群	173	一般材	トドマツ	22～38		
			アカエゾマツ・エゾマツ	22～38		
			カラマツ・グイマツ	22～38		
			スギ	22～38		
			その他針葉樹	22～38		
			ナラ・ウダイカバ・ダケカンバ・ニレ カツラ・シナ・セン・ヤチダモ	46～		
			クルミ・アサダ・ホオ・キハダ・イタヤ	36～		
			サクラ類・シラカンバ・ハン・ドロ	24～		
			エンジュ・アオダモ	16～		
			計	879		

注) ※印は、「上木最終伐採林齢」、※※印は、「択伐を開始する林齢」である。

(5) 資源の循環利用林の生産群別の標準伐採量

各生産群の面積が少ないことから、標準伐採量は定めない。

(6) 伐採総量

(単位: m³、ha)

区 分			林 地				林地 以外	合 計	
			主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量			計
水 土 保 全 林	国土保全タイプ		(6,662) 23,658	220,338	243,996	52,300	772,018	—	772,018
	水源かん養タイプ	単 層 林	(2,023) 19,242	105,536	124,778				
		長期単層林	(4,535) 531	112,884	113,415				
		複 層 林	(2,544) 69,458	99,442	168,900				
		混 交 林	(1,651) 680	44,429	45,109				
		育成天然林	(463) 6,351	6,351					
		天 然 生 林							
		小 計	(11,216) 89,911	368,642	458,553				
	計		(17,878) 113,569	588,980	702,549				
	の 森 林 と 人 の 共 生 林	自然維持タイプ		(5) 156	156				
森林空間利用タイプ		(364) 4,585	12,428	17,013					
計		(369) 4,585	12,584	17,169					
資 源 の 循 環 利 用 林	単 層 林		(225) 806	8,015	8,821				
	長 期 単 層 林								
	複 層 林		(14) 553	553					
	混 交 林		(12) 250	250					
	育 成 天 然 林								
	天 然 生 林								
	計		(252) 806	8,818	9,624	700	10,324	—	10,324
合 計			(18,499) 118,960	610,382	729,342	53,000	782,342	—	782,342
年 平 均			(3,700) 23,792	122,076	145,868	10,600	156,468	—	156,468

注) 上段()は、間伐面積である。

【変更計画】

(3) 水源涵養タイプの施業群別の上限伐採面積

(単位：h a)

施業群	単層林	長期単層林	複層林	混交林	育成天然林	天然生林
上限伐採面積	<u>1,342</u>	<u>392</u>	<u>2,132</u>	<u>1,093</u>	<u>7,342</u>	<u>4,401</u>

※【現行計画】の(4)資源の循環利用林の生産群別の面積(5)資源の循環利用林の生産群別の標準伐採量は削除

(4) 伐採総量

(単位：m³、h a)

区 分		林 地				林 地 以 外	合 計
		主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計	
山地災害防止タイプ		23,658	(6,662) 220,338	243,996			
自然維持タイプ		—	(5) 156	156			
森林空間利用タイプ		4,585	(364) 12,428	17,013			
快適環境形成タイプ		—	—	—			
水源涵養タイプ	単 層 林	<u>20,574</u>	(2,251) <u>113,725</u>	<u>134,299</u>			
	長期単層林	531	(4,535) 112,884	113,415			
	複 層 林	69,458	(2,558) <u>99,995</u>	<u>169,453</u>			
	混 交 林	680	(1,664) <u>44,679</u>	<u>45,359</u>			
	育成天然林	—	(463) 6,351	6,351			
	天 然 生 林	—	—	—			
	計	<u>91,243</u>	(11,471) <u>377,634</u>	<u>468,877</u>			
合 計		<u>119,486</u>	(18,502) <u>610,556</u>	<u>730,042</u>	53,000	<u>783,042</u>	— <u>783,042</u>
年 平 均		<u>24,055</u>	(3,702) <u>122,163</u>	<u>146,218</u>	10,600	<u>156,818</u>	— <u>156,818</u>

注1) 上段()は、間伐面積である。

注2) 「年平均」は、変更前の年平均に今回の変更計画による伐採量の増減量を本計画期間の残期間で除したものを加えて算出した数量を計上した。

【現行計画】

(再掲)市町村別内訳

(単位: m³、ha)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
函 館 市	—	—	—				
北 斗 市	17,106	(1,695) 52,599	69,705				
福 島 町	1,311	(327) 9,902	11,213				
知 内 町	8,143	(727) 22,165	30,308				
木 古 内 町	21,278	(1,399) 45,167	66,445				
七 飯 町	3,462	(197) 17,035	20,497				
鹿 部 町	—	—	—				
森 町	15,132	(838) 30,054	45,186				
八 雲 町	4,112	(2,216) 90,789	94,901				
長 万 部 町	2,679	(1,404) 38,214	40,893				
江 差 町	698	(99) 1,811	2,509				
上ノ国町	15,380	(1,656) 49,579	64,959				
厚 沢 部 町	14,038	(2,584) 96,442	110,480				
乙 部 町	4,482	(923) 30,719	35,201				
奥 尻 町	—	(419) 11,494	11,494				
今 金 町	11,139	(1,899) 54,650	65,789				
せ た な 町	—	(2,115) 59,762	59,762				
合 計	118,960	(18,499) 610,382	729,342				

注 1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注 2) 上段()の数値は間伐面積(ha)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

【変更計画】

(再掲) 市町村別内訳

(単位: m³、h a)

市 町 村 名	林 地					林 地 以 外	合 計
	主 伐	間 伐	小 計	臨時伐採量	計		
函 館 市	-	-	-				
北 斗 市	17,106	(1,695) 52,599	69,705				
福 島 町	1,311	(327) 9,902	11,213				
知 内 町	8,143	(730) 22,339	30,482				
木 古 内 町	21,278	(1,399) 45,167	66,445				
七 飯 町	3,462	(197) 17,035	20,497				
鹿 部 町	-	-	-				
森 町	15,132	(838) 30,054	45,186				
八 雲 町	4,112	(2,216) 90,789	94,901				
長 万 部 町	2,679	(1,404) 38,214	40,893				
江 差 町	1,224	(99) 1,811	3,035				
上ノ国町	15,380	(1,656) 49,579	64,959				
厚 沢 部 町	14,038	(2,584) 96,442	110,480				
乙 部 町	4,482	(923) 30,719	35,201				
奥 尻 町	-	(419) 11,494	11,494				
今 金 町	11,139	(1,899) 54,650	65,789				
せ た な 町	-	(2,115) 59,762	59,762				
合 計	119,486	(18,502) 610,556	730,042				

注1) 市町村別内訳には、臨時伐採量及び林地以外の土地に係る伐採量は含まれていない。

注2) 上段()の数値は間伐面積(h a)を表し、合計は四捨五入の為、必ずしも一致しない。

【現行計画】

(7) 更新総量

(単位 :ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合計
		国土保全 タイプ	水源かん 養タイプ	計	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	計		
人工 造林	単層林造成		45	45				2	47
	複層林造成	148	578	726		35	35		761
	計	148	623	771		35	35	2	808
天然 更新	天然下種第1類								
	天然下種第2類		181	181					181
	ぼう芽更新								
	計		181	181					181
合 計		148	804	952		35	35	2	989

(8) 保育総量

(単位 :ha)

区 分		水 土 保 全 林			森林と人との共生林			資源の 循環 利用林	合計
		国土保全 タイプ	水源かん 養タイプ	計	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	計		
保 育	下 刈	3,061	6,435	9,496		615	615	9	10,120
	つ る 切 り	65	91	156		2	2	3	161
	除 伐	28	41	69		1	1	1	71

【変更計画】

(5) 更新総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合計
人工 造林	単 層 林 造 成	-	-	-	-	48	48
	複 層 林 造 成	148	-	35	-	578	761
	計	148	-	35	-	627	809
天然 更新	天然下種第1類	-	-	-	-	-	-
	天然下種第2類	-	-	-	-	181	181
	ぼう芽更新	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	181	181
合 計		148	-	35	-	807	990

(6) 保育総量

(単位：h a)

区 分		山地災害 防止タイプ	自然維持 タイプ	森林空間 利用タイプ	快適環境 形成タイプ	水源涵養 タイプ	合計
保 育	下 刈	3,061	-	615	-	6,451	10,127
	つる切り	65	-	2	-	94	161
	除 伐	28	-	1	-	42	71

3 林道の整備に関する事項

【現行計画】

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備 考
檜山森林管理署						
基 幹	開 設	上ノ国湯の沢	2128～2131,2141,2142, 2144～2146	8,100	1	上ノ国町
	計	1 路線		8,100	1	
その他	開 設	栄浜林道女男の沢支線	1406,1410～1412	3,400	1	乙部町
		弥七	3194～3197,3218, 3219	5,300	1	木古内町
		中の沢林道第二支線	2215～2221	4,700	1	上ノ国町
		板谷堀	3151,3152,3154～3156, 3159～3161	4,500	1	木古内町
		大糠野林道次郎沢支線	149,154,155	3,700	1	厚沢部町
		神明中の沢線林道 糠野越支線	2178～2180,2185～2188	3,400	1	上ノ国町
		中の沢林道太鼓沢支線	2205～2207,2209,2211～ 2216,2222,2223,2225～2228	5,600	1	上ノ国町
		神明林道右股の沢 支線峠沢越分線	2266,2267,3137,3149	1,200	1	上ノ国町
		館泉沢中野線林道 三階滝支線	3064～3067	2,000	1	木古内町
		東萊出石線林道 神馬支線	4278,4279	1,200	1	知内町
		吉弥沢	431～433	3,400	1	厚沢部町
		カノコ右股	5098,5124～5126,5128,5129	4,200	1	北斗市
		中小屋の沢	6024～6026,6028	4,500	1	北斗市
		上河汲沢	6008～6014	5,000	1	北斗市
		楢川林道第二支線	2034,2035	500	1	江差町
	計	15 路線		52,600	15	
基 幹	改 良	中の沢	2216	30	1	上ノ国町
		戸切地中山線	5005,5016, 5046,5048,5049	460	10	北斗市
	計	2 路線		490	11	
その他	改 良	大野中二股	6058～6068	40	1	北斗市
		大野二股鳥崎姫川線 林道第一支線	6086～6090	40	1	北斗市
	計	2 路線		80	2	
檜山森林管理署合計						
開 設	基 幹	1 路線		8,100	1	
	その他	15 路線		52,600	15	
	計	16 路線		60,700	16	
改 良	基 幹	2 路線		490	11	
	その他	2 路線		80	2	
	計	4 路線		570	13	
渡島森林管理署						
基 幹	開 設	夏路ふ化場線	302～304,307	1,000	1	八雲町
		冷水	7282～7284	2,200	1	八雲町
		上国縫川	402～407	3,000	1	長万部町
		音名川	156～164	3,000	1	八雲町
	計	4 路線		9,200	4	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備 考
その他	開 設	南満河林道第一支線	265～268	7,000	1	八雲町
		野田生中二股林道 水車沢支線	42,43,45,46	2,000	1	八雲町
		若松	5236,5237,5241	6,000	1	せたな町
		野田生わらびの	1～3	1,000	1	八雲町
		野田生トンペー沢	9～12,14,15	2,000	1	八雲町
		番の沢猪岱線	5273～5275,5280,5281	3,000	1	せたな町
		釜別林道沼上の沢支線	3123,3125～3127	3,000	1	八雲町
		カリマ川林道第二支線	2107～2110	2,500	1	七飯町
		白石夏路線	4357	1,000	1	今金町
		切梶島歌線	5086～5088	3,000	1	せたな町
		中の沢第一線	5234～5240	3,000	1	せたな町
		第2セイヨウベツ線	299,300	2,500	1	八雲町
		賀呂	147～150	4,000	1	八雲町
		計	13 路線		40,000	13
基 幹	改 良	種川下ハカイ線林道 種川支線	4055,4056,4058～4060	60	1	今金町
		野田生中二股	47～50,55～57	80	1	八雲町
		トワルベツルコツ線	343,344,349～351	40	1	八雲町
		トマンケシ	4002～4022	40	1	今金町
		真駒内川	5140～5183	180	1	せたな町
		金ヶ沢	5301～5309	80	1	せたな町
		下二股	3023～3036	40	1	八雲町
		釜別	3097～3113,3109～3119	120	1	八雲町
		白石	4355～4359,4368～4381	120	1	今金町
		紋別川	459～474	80	1	長万部町
		計	10 路線		840	10
その他	改 良	チブタウシナイ	551～555	60	1	長万部町
		ポンサックルトワルベ ツ支庁界線	327～337	40	1	八雲町
		ポン金ヶ沢	5278～5296	180	1	せたな町
		若松中の沢	5233～5241	40	1	せたな町
	計	4 路線		320	4	
渡島森林管理署合計						
開 設	基 幹	4 路線		9,200	4	
	その他	13 路線		40,000	13	
	計	17 路線		49,200	17	
改 良	基 幹	10 路線		840	10	
	その他	4 路線		320	4	
	計	14 路線		1,160	14	
森林計画区合計						
開 設	基 幹	5 路線		17,300	5	
	その他	28 路線		92,600	28	
	計	33 路線		109,900	33	
改 良	基 幹	12 路線		1,330	21	
	その他	6 路線		400	6	
	計	18 路線		1,730	27	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

3 林道の整備に関する事項

【変更計画】

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備 考
檜山森林管理署						
基 幹	開 設	上ノ国湯の沢	2128～2131,2141,2142, 2144～2146	8,100		上ノ国町
	計	1 路線		8,100		
その他	開 設	栄浜林道女男の沢支線	1406,1410～1412	4,200		乙部町
		弥七	3194～3197,3218, 3219	5,300		木古内町
		中の沢林道第二支線	2215～2221	4,700		上ノ国町
		板谷堀	3151,3152,3154～3156, 3159～3161	4,500		木古内町
		大糠野林道次郎沢支線	149,154,155	3,800		厚沢部町
		神明中の沢線林道 糠野越支線	2178～2180,2185～2188	3,400		上ノ国町
		中の沢林道太鼓沢支線	2205～2207,2209,2211～ 2216,2222,2223,2225～2228	5,600		上ノ国町
		神明林道右股の沢 支線峠沢越分線	2266,2267,3137,3149	1,200		上ノ国町
		館泉沢中野線林道 三階滝支線	3064～3067	2,000		木古内町
		東萊出石線林道 神馬支線	4278,4279	1,200		知内町
		吉弥沢	431～433	3,400		厚沢部町
		カノコ右股	5098,5124～5126,5128,5129	4,200		北斗市
		中小屋の沢	6024～6026,6028	4,500		北斗市
		上河汲沢	6008～6014	5,000		北斗市
		楢川林道第二支線	2034,2035	1,100		江差町
	計	15 路線		54,100		
基 幹	改 良	中の沢	2216	30	1	上ノ国町
		戸切地中山線	5005,5016、5046,5048,5049	460	10	北斗市
	計	2 路線		490	11	
その他	改 良	大野中二股	6058～6068	40	1	北斗市
		大野二股鳥崎姫川線 林道第一支線	6086～6090	40	1	北斗市
	計	2 路線		80	2	
檜山森林管理署合計						
開 設	基 幹	1 路線		8,100		
	その他	15 路線		54,100		
	計	16 路線		62,200		
改 良	基 幹	2 路線		490	11	
	その他	2 路線		80	2	
	計	4 路線		570	13	

基幹・ その他別	開設・ 改良	路 線 名	箇 所 (林 班)	延長(m)	箇所数 (改良)	備 考
渡島森林管理署						
基 幹	開 設	夏路ふ化場線	302～304,307	1,000		八雲町
		冷水	7282～7284	2,200		八雲町
		上国縫川	402～407	3,000		長万部町
		音名川	156～164	3,000		八雲町
		志文内花石線	4300～4302	2,000		今金町
	計	5 路線		11,200		
その他	開 設	南満河林道第一支線	265～268	7,000		八雲町
		野田生中二股林道	42,43,45,46	2,000		八雲町
		水車沢支線				
		若松	5236,5237,5241	6,000		せたな町
		野田生わらびの	1～3	1,000		八雲町
		野田生トンペー沢	9～12,14,15	2,000		八雲町
		番の沢猪岱線	5273～5275,5280,5281	3,000		せたな町
		釜別林道沼上の沢支線	3123,3125～3127	3,000		八雲町
		カリマ川林道第二支線	2107～2110	2,500		七飯町
		白石夏路線	4357	1,000		今金町
		切梶島歌線	5086～5088	3,000		せたな町
		中の沢第一線	5234～5240	3,000		せたな町
		第2セイヨウベツ線	299,300	2,500		八雲町
		賀呂	147～150	4,000		八雲町
		檜山ガロノ沢	2114～2120	4,600		七飯町
	計	14 路線		44,600		
基 幹	改 良	種川下ハカイ線林道	4055,4056,4058～4060	60	1	今金町
		種川支線				
		野田生中二股	47～50,55～57	80	1	八雲町
		トワルベツルコツ線	343,344,349～351	40	1	八雲町
		トマンケシ	4002～4022	40	1	今金町
		真駒内川	5140～5183	180	1	せたな町
		金ヶ沢	5301～5309	80	1	せたな町
		下二股	3023～3036	40	1	八雲町
		釜別	3097～3113,3109～3119	120	1	八雲町
		白石	4355～4359,4368～4381	120	1	今金町
		紋別川	459～474	80	1	長万部町
	計	10 路線		840	10	
その他	改 良	チブタウシナイ	551～555	60	1	長万部町
		ポンサックルトワルベツ支庁界線	327～337	40	1	八雲町
		ポン金ヶ沢	5278～5296	180	1	せたな町
		若松中の沢	5233～5241	40	1	せたな町
	計	4 路線		320	4	
渡島森林管理署合計						
開 設	基 幹	5 路線		11,200		
	その他	14 路線		44,600		
	計	19 路線		55,800		
改 良	基 幹	10 路線		840	10	
	その他	4 路線		320	4	
	計	14 路線		1,160	14	
森林計画区合計						
開 設	基 幹	6 路線		19,300		
	その他	29 路線		98,700		
	計	35 路線		118,000		
改 良	基 幹	12 路線		1,330	21	
	その他	6 路線		400	6	
	計	18 路線		1,730	27	

注) 災害復旧等緊急を要する改良については、指定箇所以外においても実行ができるものとする。

6 レクリエーションの森の名称及び区域
【現行計画】

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	備 考
自然 休 養 林	檜山森林管理署					
	恵山自然休養林 (探勝ゾーン)	既設	433.39	別表 参照	活火山の特異な山容等、登山 ハイキング等に最適である。	保健機能森 林に該当す る森林
	渡島森林管理署					
	美利河・二股自然 休養林(風景ゾーン)	既設	709.87	別表 参照	森林、湖、温泉等レクリエー ション資源が良好に保全されて いる。これらの資源を活かし、登 山、ハイキング、ピクニック、自 然探勝、自然観察、温泉浴等四 季を通じた利用が行われている。	
	駒ヶ岳自然休養林 (風景ゾーン)	既設	1267.64	別表 参照	活火山の雄大な山容と湖沼の 調和が美しく、登山自然探勝に 最適である。	
	狩場山自然休養林 (風景ゾーン)	既設	413.79	別表 参照	自然環境の保全に重点を置 き、レクリエーションの森にふさ わしい保健休養林、自然科学、 情操教育の場としての利用を図 る。	
	森 林 計 画 区 計		4箇所	2,824.69		
自然 観 察 教 育 林	檜山森林管理署					
	茂辺地自然観察 教育林	既設	160.35	別表 参照	景勝地である盤の沢を核とし て森林内の散策路や樹木園が 整備され函館近郊の市民が森 林とふれあう場所として親しま れている。近年バリアフリーの森 林散策路の整備を実施したところ であり、これらの資源を活かして 幅広い層を対象に自然観察や 自然探勝の場としての利用が見 込まれる。	
	森 林 計 画 区 計		1箇所	160.35		
野 外 ス ポ ー ツ 地 域	渡島森林管理署					
	七飯・大沼 野外スポーツ地域	既設	148.70	別表 参照	都市近郊に所在し雪質が良好 で、交通機関及び道路が整備さ れている。	
	美利河スキー場 野外スポーツ地域	既設	124.73	別表 参照	冬季のスキー利用を主体とし ているが、春から秋の三シーズ ンはパークゴルフ等の野外ス ポーツ、また林内の自然探勝等 レクリエーションの利用をして いる。	
	森 林 計 画 区 計		2箇所	273.43		

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	備 考
風 景 林	檜山森林管理署					
	笹山風景林	既設	917.06	別表 参照	森林、溪流、山岳等が保存されており、自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	
	七ツ岳風景林	既設	439.76	別表 参照	森林、池沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	
	縁桂・乙部岳風景林	既設	1,620.29	別表 参照	巨樹・巨木100選に選定された縁桂のある中心区域はイベント等に数多く利用されている。また、これを囲む乙部岳一帯の森林には新緑から紅葉、雪景まで四季を通じて景観美を楽しむため多くの人々が訪れるほか、山菜採取を楽しむ者にも利用されている。	
	大千軒風景林	既設	466.08	別表 参照	森林、池沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	
	渡島森林管理署					
	熊戻り風景林	既設	425.22	別表 参照	真駒内川流域の溪谷美と春の新緑、秋の紅葉を求めて訪れる人が多く、また、溪流釣でも人気がある。狩場山の登山口にもなっておりレクリエーション地域を形成している。	
	相沼湖風景林	既設	106.94	別表 参照	森林、池沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	
	臼別風景林	既設	673.17	別表 参照	森林、湖沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	
	熊石風景林	既設	583.76	別表 参照	森林、湖沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	
森 林 計 画 区 計		8箇所	5,232.28			

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (ha)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	備 考
風 致 探 勝 林	渡島森林管理署					
	八雲温泉風致探勝林	既設	239.61	別表 参照	八雲町営保養施設の開設を契機として、四季を通じた温泉浴、登山、自然探勝の野外レクリエーションの利用に親しまれている。	保健機能森林に該当する森林
	鳥崎風致探勝林	既設	185.41	別表 参照	溪流とダム(湖)と森林の調和が美しく、鳥崎八景等風光明媚である。	保健機能森林に該当する森林
	貝取澗風致探勝林	既設	327.48	別表 参照	背景林、近景林、遠景林として新緑、紅葉の季節における自然観察型、野外スポーツ型のレクリエーション利用を図る。	保健機能森林に該当する森林
	森 林 計 画 区 計	3箇所	752.50			
そ の 他	渡島森林管理署					
	立象山園地施設敷	既設	2.90	別表 参照	立象山公園として親しまれ、付近の海水浴場と併せて地元住民の憩いの場として利用されている。	
	森 林 計 画 区 計	1箇所	2.90			
森 林 計 画 区 合 計		19箇所	9,246.15			

注) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

【変更計画】

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
自然休養林	檜山森林管理署								
	恵山 自然休養林 (探勝ゾーン)	既設	433.39	別表 参照	活火山の特異な山 容等、登山ハイキン グ等に最適である。	天	園地外 (国、函 館市)	歩道 延長 12807m 外	保健機 能森林 に該当 する森 林
	渡島森林管理署								
	美利河・二股 自然休養林 (風景ゾーン)	既設	709.87	別表 参照	森林、湖、温泉等 レクリエーション資 源が良好に保全され ている。これらの資 源を活かし、登山、 ハイキング、ピク ニック、自然探勝、 自然観察、温泉浴等 四季を通じた利用が 行われている。	単 複 天 間伐 18.77 ha	園地外 (国、地 方公共団 体)	歩道 延長 7481m 外	
	駒ヶ岳 自然休養林 (風景ゾーン)	既設	1,267.64	別表 参照	活火山の雄大な山 容と湖沼の調和が美 しく、登山自然探勝 に最適である。	複 天	園地外 (国)	歩道 延長 4600m 外	
	狩場山 自然休養林 (風景ゾーン)	既設	413.79	別表 参照	自然環境の保全に 重点を置き、レクリ エーションの森にふ さわしい保健休養 林、自然科学、情操 教育の場としての利 用を図る。	天			
	森林計画区計	4箇所	2,824.69						
自然観察教育林	檜山森林管理署								
	茂辺地 自然観察 教育林	既設	160.35	別表 参照	景勝地である盤の 沢を核として森林内 の散策路や樹木園が 整備され函館近郊の 市民が森林とふれあ う場所として親しま れている。近年バリ アフリーの森林散策 路の整備を実施した ところであり、これ らの資源を活かして 幅広い層を対象に自 然観察や自然探勝の 場としての利用が見 込まれる。	単 複 天	歩道外 (国)	歩道 延長 7853m 外	
	森林計画区計	1箇所	160.35						

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
野外ス ポーツ地 域	渡島森林管理署								
	七飯・大沼 野外スポーツ 地域	既設	148.70	別表 参照	都市近郊に所在し 雪質が良好で、交通 機関及び道路が整備 されている。	単 複 天 間伐 4.96 ha	ゲレンデ コース (民間)		
	美利河 スキー場 野外スポーツ 地域	既設	124.73	別表 参照	冬季のスキー利用 を主体としている が、春から秋の三 シーズンはパークゴ ルフ等の野外スポー ツ、また林内の自然 探勝等レクリエー ションの利用をして いる。	単 複 天	ゲレンデ コース外 (地方公 共団体)		
	森林計画区計	2箇所	273.43						
風景林	檜山森林管理署								
	笹山風景林	既設	917.06	別表 参照	森林、溪流、山岳 等が保存されてお り、自然探勝、ハイ キング、登山等の利 用を図る。	複 天	歩道 (国)	歩道 延長 8000m	
	七ツ岳風景林	既設	439.76	別表 参照	森林、池沼、山岳 などのレクリエー ション資源が良好に 保存されている。こ れらを活かして自然 探勝、ハイキング、 登山等の利用を図 る。	複 天	歩道外 (国)	歩道 延長 3510m 外	
	縁桂・乙部岳 風景林	既設	1,620.29	別表 参照	巨樹・巨木100選 に選定された縁桂の ある中心区域はイベ ント等に数多く利用 されている。また、 これを囲む乙部岳一 帯の森林には新緑か ら紅葉、雪景まで四 季を通じて景観美を 楽しむため多くの 人が訪れるほか、山 菜採取を楽しむ者 にも利用されている。	単 複 天 主伐 38.80 ha 間伐 118.22 ha	歩道外 (国、乙 部町)	歩道 延長 13147m 外	
	大千軒風景林	既設	466.08	別表 参照	森林、池沼、山岳 などのレクリエー ション資源が良好に 保存されている。こ れらを活かして自然 探勝、ハイキング、 登山等の利用を図 る。	天	歩道外 (国、福 島町、団 体)	歩道 延長 6500m 外	

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
風景林	渡島森林管理署								
	熊戻り風景林	既設	425.22	別表 参照	真駒内川流域の溪谷美と春の新緑、秋の紅葉を求めて訪れる人が多く、また、溪流釣でも人気がある。狩場山の登山口にもなっておりレクリエーション地域を形成している。	複 天 間伐 20.67 ha	園地外 (地方公 共団体)		
	相沼湖風景林	既設	106.94	別表 参照	森林、池沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	複 天			
	臼別風景林	既設	673.17	別表 参照	森林、湖沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	単 複 天 間伐 33.31 ha	車道外 (国、地 方公共団 体)	車道 延長 6100m 外	
	熊石風景林	既設	583.76	別表 参照	森林、湖沼、山岳などのレクリエーション資源が良好に保存されている。これらを活かして自然探勝、ハイキング、登山等の利用を図る。	単 複 天	車道外 (国、地 方公共団 体)	車道 延長 3800m	
	森林計画区計	8箇所	5,232.28						

種類	名 称	新設・ 既設	面 積 (h a)	位 置 (林小班)	選 定 理 由	施業 方法	既存施設 の概要	施設 整備	備 考
風 致 探 勝 林	渡島森林管理署								
	八雲温泉 風致探勝林	既設	239. 61	別表 参照	八雲町営保養施設の開設を契機として、四季を通じた温泉浴、登山、自然探勝の野外レクリエーションの利用に親しまれている。	複 天	歩道 (国)	歩道 延長 2930m	保健機能森林に該当する森林
	鳥崎 風致探勝林	既設	185. 41	別表 参照	溪流とダム（湖）と森林の調和が美しく、鳥崎八景等風光明媚である。	単 複 天 間伐 1. 63 ha	園地外 (国、地方公共団体)	車道 延長 380m	保健機能森林に該当する森林
	貝取澗 風致探勝林	既設	327. 48	別表 参照	背景林、近景林、遠景林として新緑、紅葉の季節における自然観察型、野外スポーツ型のレクリエーション利用を図る。	複 天	車道外 (国、せたな町)	車道 延長 4300m	保健機能森林に該当する森林
	森林計画区計	3箇所	752. 50						
	渡島森林管理署								
シ ョ ン の 森 施 設 敷	立象山園地 施設敷	既設	2. 90	別表 参照	立象山公園として親しまれ、付近の海水浴場と併せて地元住民の憩いの場として利用されている。		キャンプ 場外(地方公共団体)		
	森林計画区計	1箇所	2. 90						
森林計画区合計		19箇所	9. 246. 15						

注1) 備考欄の「保健機能森林に該当する森林」とは、「森林の保健機能の増進に関する特別措置法」に基づき、施設の整備を森林の施業と一体的かつ計画的に推進する森林のことを指す。

注2) 施業方法 単＝育成単層林へ導くための施業 複＝育成複層林へ導くための施業
天＝天然生林へ導くための施業

7 公益的機能維持増進協定の名称及び区域

該当なし

8 その他必要な事項

(3) 森林共同施業団地

名 称	対 象 地 (林 小 班)		面 積 (h a)	連携した施業 の内容	備 考
檜山森林管理署					
厚沢部町清水地域 森林整備推進協定	民	75～78、80～82、95～97、101	514		協定相手： 厚沢部町
	国	429～441	902		
森林計画区合計	民		514	1箇所	
	国		902		
	計		1,416		